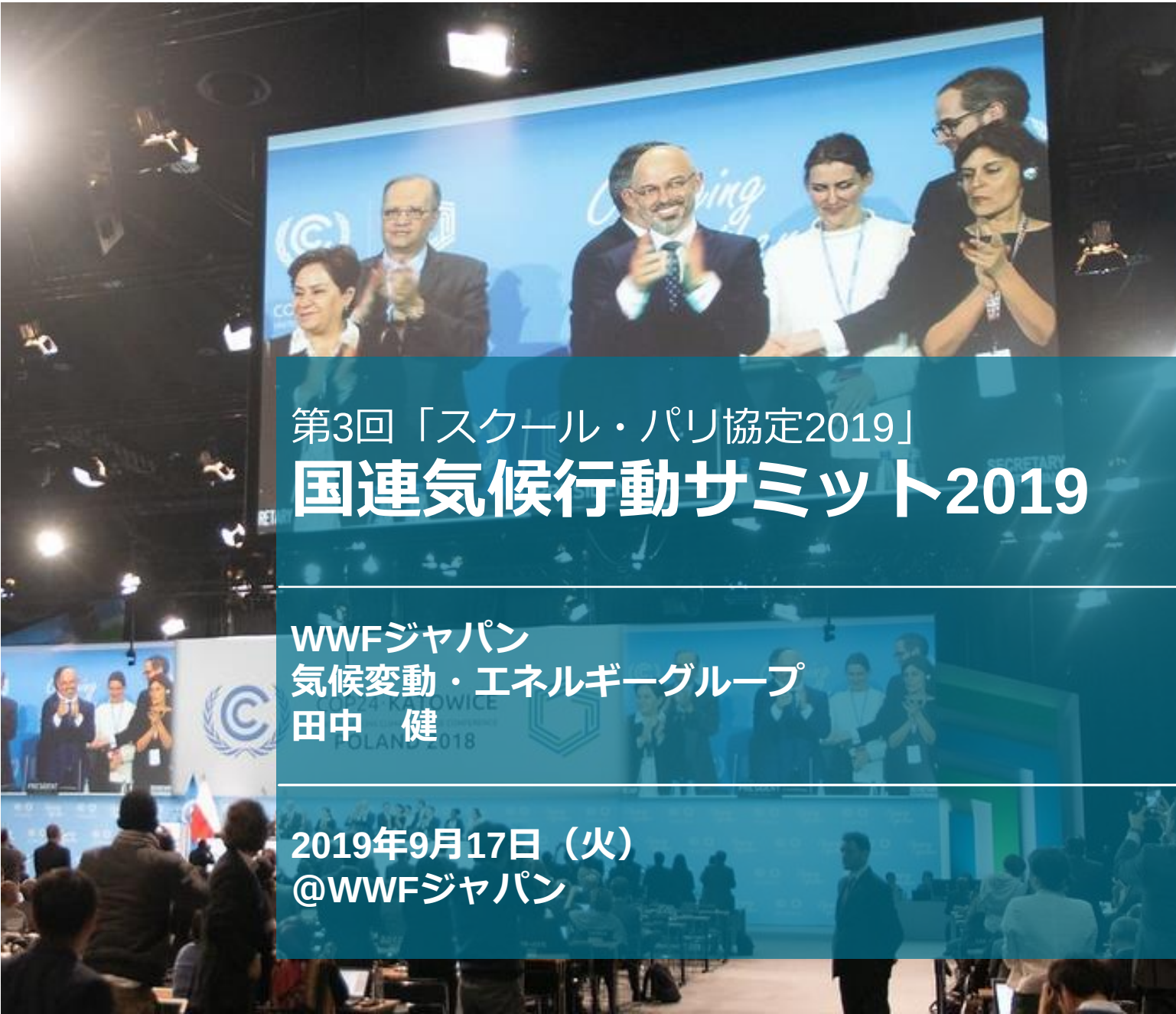




第3回「スクール・パリ協定2019」 国連気候行動サミット2019

WWFジャパン
気候変動・エネルギーグループ
田中 健

2019年9月17日（火）
@WWFジャパン



国連気候行動サミット2019

国連気候行動サミットとは

- ✓ これまで、2009年と2014年の9月に、当時の国連事務総長である潘基文(ばん・ぎむん／パン・ギムン)氏の強い呼びかけで開催された。
- ✓ 2009年の国連気候行動サミットは、「ポスト京都議定書」の締結を目標とするCOP15（コペンハーゲン）を前に、政治の最高レベルの関心が気候変動に向けられ、続くCOP15での交渉が合意に結び付くことを目指して召集。
- ✓ 2014年は、翌年のCOP21での締結が目指されていた協定（＝パリ協定）の原案が提示されるCOP20（リマ）を前に、気候変動に対する政治的機運を高める目的で、召集。

国連気候行動サミット2019の開催

2018年9月10日に国連本部で、グテレス事務総長が開催を表明

“If we do not change course by 2020, we risk missing the point where we can avoid runaway climate change, with disastrous consequences for people and all the natural systems that sustain us.

That is why, today, I am appealing for leadership – from politicians, from business and scientists, and from the public everywhere.”

“もし私たちが2020年までに気候の進路を変えなければ、私たちは気候変動を避ける機を逃すリスクを負うでしょう。そのことは、人々や私たちを支える自然システムに悲惨な結果を引き起こします。だからこそ、私は今日こうして、あらゆる場所の政治家、企業、科学者、市民に、リーダーシップを求めて訴えているのです。”

“I want to hear about how we are going to stop the increase in emissions by 2020, and dramatically reduce emissions to reach net-zero emissions by mid-century.”

“私たちがいかにして2020年までに排出量の増大を止め、今世紀半ばまでに正味ゼロ・エミッションを達成できるよう排出量を劇的に削減していくつもりなのか、お聞きしたいと思います”

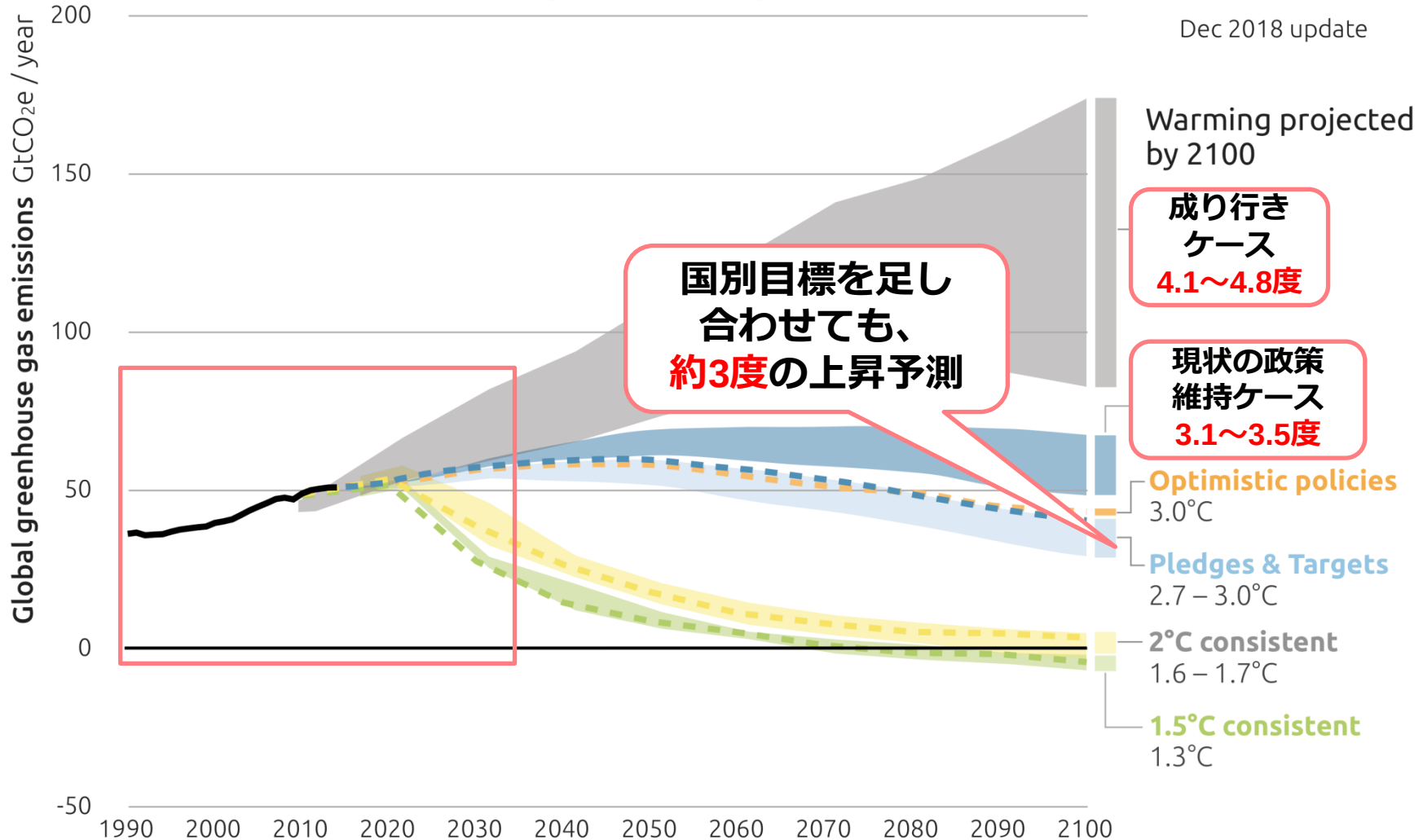
目指している所と現状のギャップ

2100 WARMING PROJECTIONS

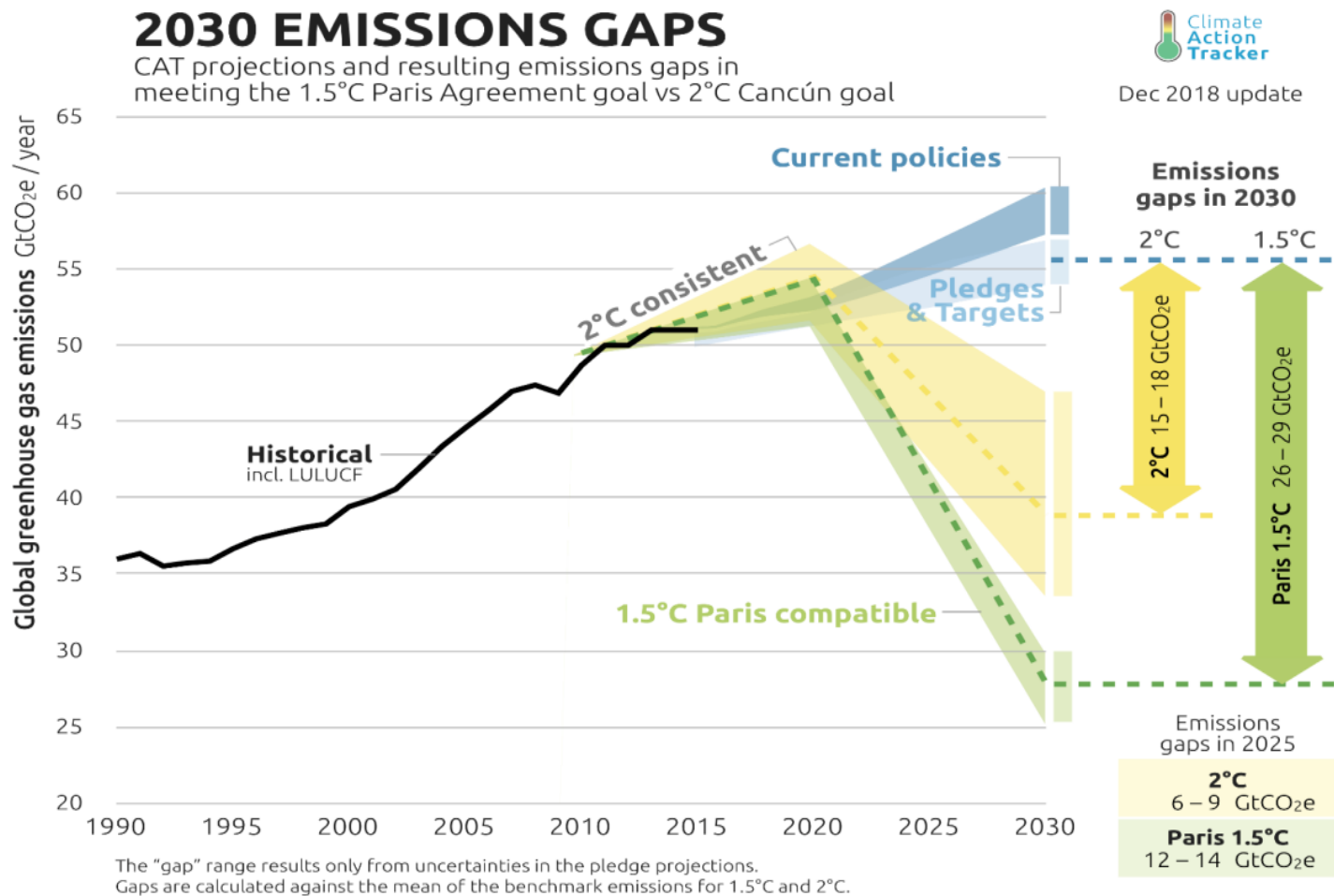
Emissions and expected warming based on pledges and current policies



Dec 2018 update



なぜ国連気候行動サミット2019が重要か



現在の国別目標とパリ協定の目標の間には、排出量に大きなギャップ

グテレス事務総長が求めるもの

UN Secretary-General António Guterres is calling on all leaders to come to New York on 23 September with **concrete, realistic plans to enhance their nationally determined contributions by 2020, in line with reducing greenhouse gas emissions by 45 per cent over the next decade, and to net zero emissions by 2050.**

今後10年間で温室効果ガス排出量を45%削減し、2050年までに正味ゼロ・エミッションを達成するために、2020年までに自国が決定する貢献（NDCs）を強化するための具体的、現実的計画



IPCCの1.5°C特別報告書によると、産業革命前からの気温上昇を1.5度に抑えるためには、

- ・ **2030年までに温室効果ガス排出量を45%削減**
- ・ **2050年までに正味ゼロ**

グテレス事務総長が求めるもの

This means ending subsidies for fossil fuels and high-emitting agriculture and shifting towards renewable energy, electric vehicles and climate-smart practices. It means carbon pricing that reflects the true cost of emissions, from climate risk to the health hazards of air pollution. And it means accelerating the closure of coal plants and halting the construction of new ones and replacing jobs with healthier alternatives so that the transformation is just, inclusive and profitable.

- 化石燃料・高排出な農業への補助金を廃止し、再生可能エネルギーや電気自動車、気候変動に対応した手法にシフト
- カーボンプライシングを導入し、気候リスクから大気汚染による健康被害まで、排出による真のコストを反映
- 石炭火力発電所閉鎖の加速と新規建設の取りやめ
- 公正で包括的で収益のある、健全な雇用への移行

補足：COP24でもサミット参加の呼びかけ

COP24決定での気候サミットへの言及

49. Welcomes the initiative of the United Nations Secretary-General to convene a Climate Summit in 2019;
50. Calls on Parties to participate in the Summit and to demonstrate, through such participation, their enhanced ambition in addressing climate change;



グテレス事務総長主催の気候行動サミットへの参加を呼び掛けるとともに、その参加を通じて、強化された野心を示すことを呼びかける。

補足 : COP24でもサミット参加の呼びかけ

フィジー首相のタラノア対話閉幕声明

I APPEAL TO YOU ALL TO JOIN FIJI AND THE MARSHALL ISLANDS AS THE FIRST TWO NATIONS TO COMMIT TO RAISING OUR NDCs BY 2020 AND ACHIEVE NET ZERO EMISSIONS BY THE MIDDLE OF THE CENTURY. IF WE CAN DO IT, SO CAN YOU.

SO I ASK YOU ALL TO HEED THE APPEAL OF THE UN SECRETARY GENERAL TO COME TO HIS SUMMIT IN NEW YORK NEXT SEPTEMBER WITH CONCRETE PLANS – INFORMED BY YESTERDAY’S TALANOAS AND THE HUNDREDS BEFORE THEM – TO RAISE YOUR OWN NDCs.

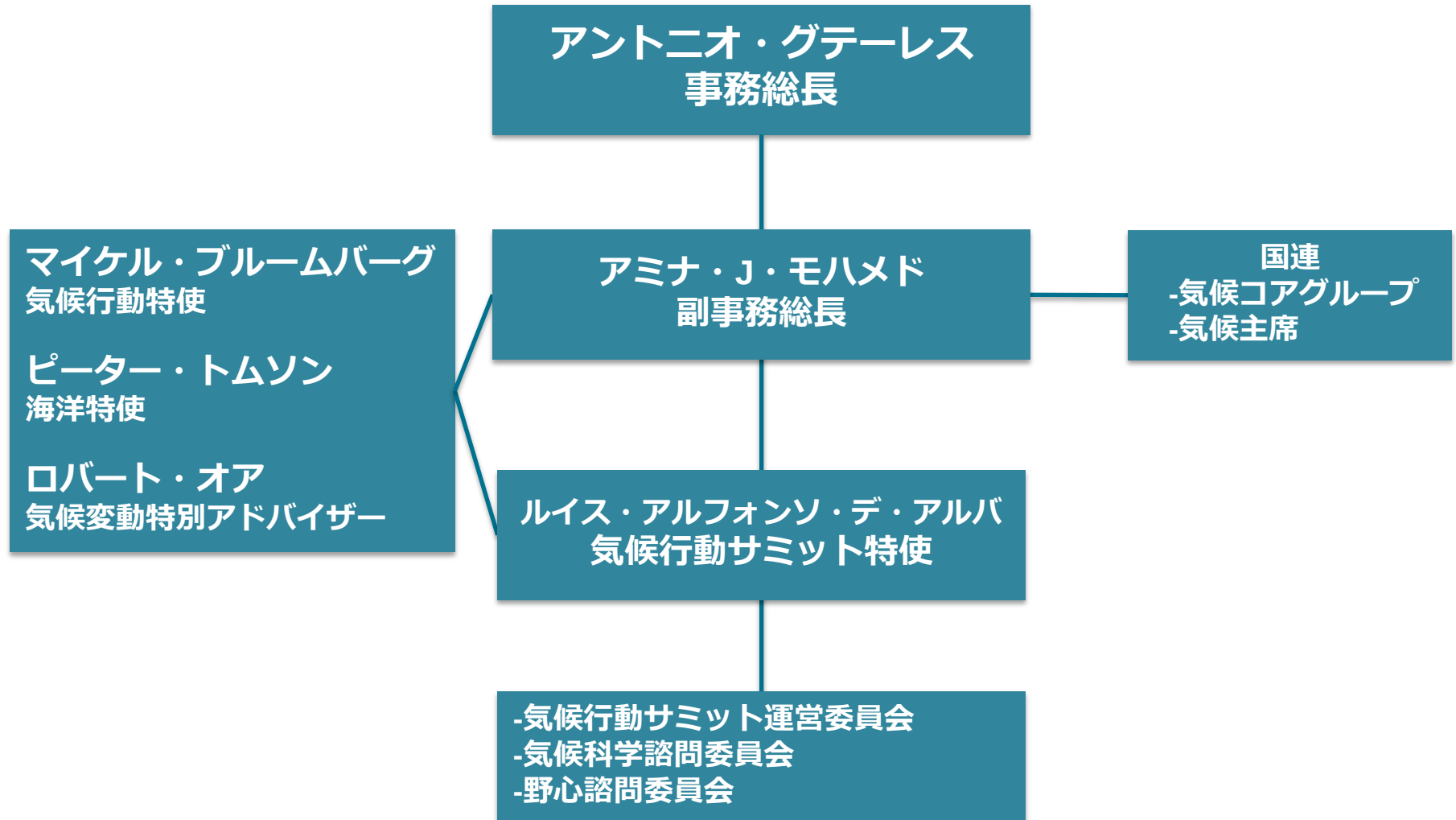


- フィジー、マーシャル諸島が、2020年までの国別目標改定および2050年までの排出量実質ゼロを宣言したことに言及。
- 国連事務総長主催の気候サミットに、NDCでの野心引き上げをもって、参加することを呼びかけている。

(出所)

<https://cop23.com.fj/talanoa-dialogue-now-must-give-way-talanoa-call-action-cop23-presidents-speech-closing-talanoa-dialogue/>

サミットの体制



Key Advisory Committeesと9つの重要課題

気候行動サミット運営委員会

サミットの諮問機関としての機能。サミットのアウトプットへの指針とサポートを提供するプラットフォームとなる。

気候科学諮問委員会

気候科学のスペシャリストが集まり、科学的観点から、サミットの組織内外に助言する。

野心諮問委員会

気候変動政策や交渉のスペシャリストが集まり、サミットのアウトプットが真に意義のあるものとなるよう助言。また、COP25,26に向けた機運維持の役割も担う。

サミットが掲げる9つの重要課題

- 緩和戦略
- 社会的・政治的ドライバー
- 若者の巻き込みと世論の動員
- エネルギーの移行
- 都市と地方での行動
- 産業の移行
- レジリエンスと適応
- 自然に基礎を置く解決策
- 金融



各課題が個別の連合体としてサミットのプログラムやアウトプットを準備。各連合体にはリード国が割り当てられている。

9つの連合体

重要課題	概要	リード国
緩和戦略	NDCと、パリ協定の目標を達成するための長期的戦略に向けた勢いを作り出す	チリ
社会的・政治的 ドライバー（促進要素）	大気汚染の削減、働きがいのある人間らしい仕事の創出、気候変動適応戦略の強化など、人々の福利に影響する分野での取り組みを進め、労働者と脆弱な立場にあるグループを守る	ペルー スペイン
若者の巻き込み と世論の動員	気候変動対策に全世界の人々を動員するとともに、6つの変革領域を含め、気候行動サミットのあらゆる側面で若者の参画を図る	アイルランド マーシャル諸 島共和国
エネルギーの移行	化石燃料から再生可能エネルギーへの移行を加速するとともに、省エネを大きく前進させる	デンマーク エチオピア
都市と地方での 行動	低排出型建物に対する新たなコミットメント、大量輸送と都市インフラ、および、都市部貧困層のレジリエンスを焦点に、都市と地方のレベルで緩和とレジリエンスを強化する	トルコ ケニア

9つの連合体

重要課題	概要	リード国
産業の移行	石油・ガス、鉄鋼、セメント、化学、情報技術などの産業を変革する	インド スウェーデン
レジリエンスと適応	特に最も脆弱なコミュニティや国々において、気候変動の影響とリスクに対処し、これを管理するためのグローバルな取り組みを進める	エジプト イギリス
自然に基礎を置く解決策	生物多様性の保全、サプライチェーンやテクノロジーの活用などを通じ、林業、農業、海洋、食料システムの各分野で、また、これらを横断して排出量を削減し、吸収源の能力を拡大し、レジリエンスを高める	中国 ニュージーランド
金融	すべての優先分野で炭素除去を推進し、レジリエンスを高めるため、官民の資金源を活用する	フランス ジャマイカ カタール

ステージへの高いハードル

This Summit will be **action oriented**. The deliverables and initiatives that will be showcased need to **be implementable, scalable and replicable** and have the potential to get us in line with the commitments of the Paris Agreement. Initiatives developed should also **include a broad range of stakeholders, including private sector and civil society**.

このサミットは**アクション重視**です。紹介される成果物や取り組みは、**実行可能、定量可能、複製可能**である必要があり、パリ協定のコミットメントに沿ったものになる可能性を持っていなければいけません。これらの取り組みには、**民間部門や市民社会を含む幅広いステークホルダーも含まれるべき**です。

サミットまでの道のり

ROAD MAP TO CLIMATE ACTION SUMMIT 2019

VERSION: 1 MAY 2019

2020

2019

MAR 2019
UN ENVIRON-
MENT ASSEMBLY
(UNEA-4)
11-15 MAR,
NAIROBI

ONE PLANET
SUMMIT
14 MAR,
NAIROBI

MAR 2019
AFRICA CLIMATE
WEEK
18-22 MAR,
ACCRA

FRIENDS OF
PARIS
AGREEMENT:
HIGH LEVEL
DIALOGUE
25-26 MAR,
BEIJING

MAR 2019
AFRICA CEO
FORUM
25-26 MAR,
KIGALI

HIGH-LEVEL
MEETING ON
PROTECTION OF
THE GLOBAL
CLIMATE
CONVENED BY
THE PGA
28 MAR,
UNHQ

APR 2019
GLOBAL
CONFERENCE ON
PARIS
AGREEMENT AND
2030 AGENDA
(UNFCCC/DESA)
1-3 APR,
COPENHAGEN

WB/IMF SPRING
MEETINGS
12-14 APR, DC

BELT AND ROAD
INITIATIVE
SUMMIT
25-27 APR,
BEIJING

MAY 2019
PETERSBERG
CLIMATE
DIALOGUE
12-14 MAY,
BERLIN

GLOBAL
PLATFORM FOR
DISASTER RISK
REDUCTION
13-17 MAY,
GENEVA

MAY 2019
INTERNATIONAL
CONFERENCE ON
CLIMATE ACTION
22-23 MAY,
HEIDELBERG

R20 AUSTRIAN
WORLD SUMMIT
28-29 MAY,
VIENNA

JUN 2019
G20 FINANCE
MINISTERIAL
8-9 JUN,
FUKUOKA

G20 MINISTER
MEETING ON
ENVIRONMENT
AND ENERGY
15-16 JUN,
NAGANO

UNFCCC SESSION
17-27 JUN,
BONN

ASEAN SUMMIT
22-23 JUN,
THAILAND

G20 SUMMIT
28-29 JUN,
OSAKA

JUN-JUL 2019
STOCKTAKING
MEETING 2019
CLIMATE ACTION
SUMMIT
30 JUN-1 JUL,
ABU DHABI

MONTREAL
PROTOCOL
1-5 JUL,
MONTREAL

HLPF ON
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
(UNDER
AUSPICES
ECOSOC)
9-18 JUL,
UNHQ

AUG 2019
LATIN AMERICAN
& CARIBBEAN
CLIMATE WEEK
19-23 AUG,
SALVADOR DE
BAHIA

G7 SUMMIT
24-26 AUG,
BIARRITZ

SECOND
CONSULTATION
MEETING, FIRST
REPLENISHMENT
OF THE GCF
29-30 AUG

SEP-DEC 2019
ASIA PACIFIC
CLIMATE WEEK
2-6 SEP

51ST SESSION
IPCC: SPECIAL
REPORT ON
OCEANS
16-20 SEP

2019 CLIMATE
ACTION
SUMMIT OF THE
SECRETARY-
GENERAL
23 SEP, UNHQ

UNFCCC COP25
2-13 DEC,
SANTIAGO

MEETINGS
AFTER
THE SUMMIT,
2020 AND
BEYOND

スケジュール

9月21日～9月22日：サイドイベント

場所：国連本部またはその周辺

9つの各連合体が、サミットを前に様々なイベントを実施。

9月21日：ユース気候サミット 場所：国連本部

選ばれたユースが、本サミットを前にアクション重視の成果・取り組みを発表。議論の結果はサミット本番で発表予定。

9月23日：気候行動サミット 場所：国連本部

9つの重要課題をテーマに、世界各地からの政府、自治体、企業、市民団体、ユースなどが、コミットメントではなく、アクション重視で選ばれた成果・取り組みを発表

サミット成功のポイント

トップレベルの野心強化

- 各国が、NDC強化にコミットし、2050年カーボンニュートラルを目指す長期戦略を提出する
- 企業や自治体が、温室効果ガス排出量を2030年までに45%削減、2050年までにネット・ゼロにコミットし、適応策を拡大する
- COP25、COP26に向けたサミットからの政治的機運を築く

社会システムの活性化

- 土地・自然システム：自然を基礎とする対策をNDC、自治体政策などに組み込む
- エネルギーシステム：石炭や化石燃料のフェーズアウト、再生エネルギー100%へのコミットメントを促す金融対策
- 都市システム：「1.5°C」に向けた計画や政策の実行を自治体と進める
- 産業システム：公正な移行の重要性を強固なものに。銀行、投資家などから企業の野心を向上させる

サミット成功のポイント

非政府アクターの集中・強化

- サミットが、あらゆる社会レベル（国家、企業、自治体、地域コミュニティ、先住民グループや市民など）における意思決定者による行動や野心の協働、共同の基本的な重要性を高める

市民・若者の声の向上

- 多くの人々が、グローバル気候マーチに参加する
- 様々なステークホルダーのリーダーや市民たちのメッセージが、こうした声をサポートする



若者たちの気候行動

ユース気候サミット

グテレス事務総長の呼びかけにより、**初めて**開催

☑19～29歳の若者

☑18歳以下（別プロセスで応募可）



7000人以上が応募

ユースワーキンググループによる選抜



選ばれし100人→**グリーンチケット**
カーボンニュートラルな移動をサポート

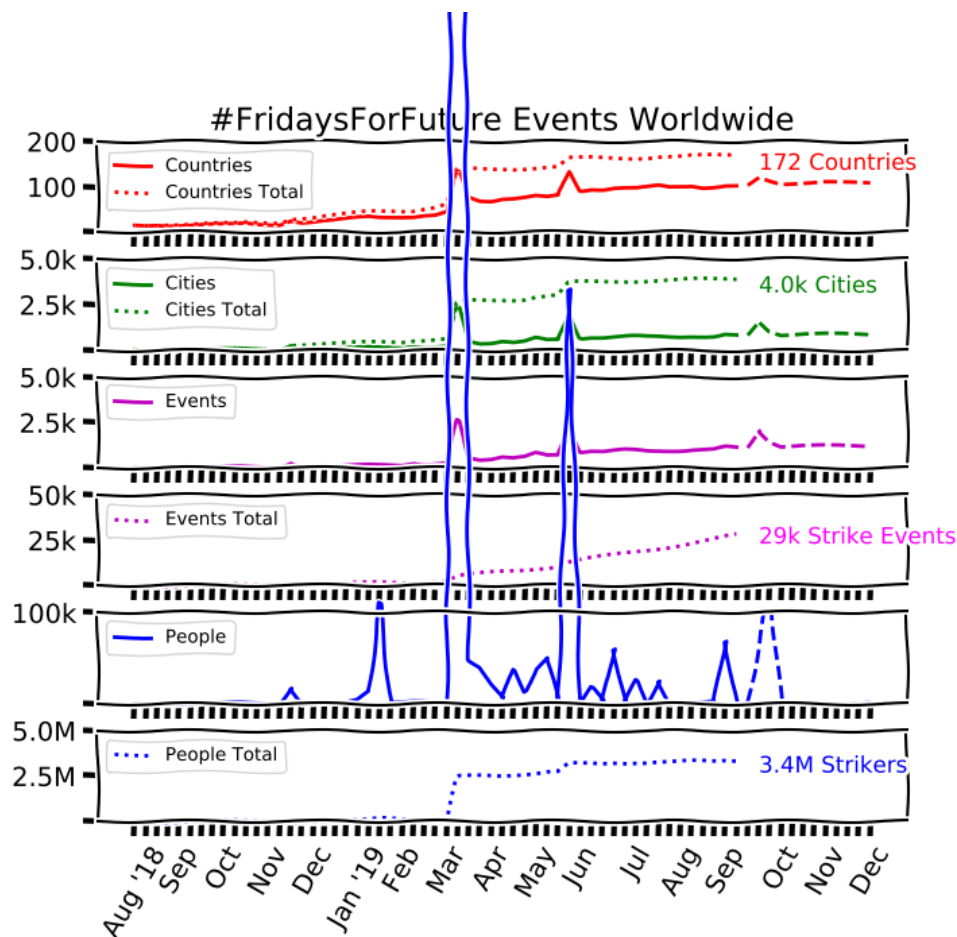
+ 500人以上が参加予定



ユース気候サミットの結果を23日の気候行動サミットで発表

若者の気候行動の高まり

#Fridays For Future



グレタ・トゥーンベリが始めたスクールストライキから生まれたムーブメント



©Anders Hellberg, [wikimediacommons](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Greta_Thunberg_2019-09-01.jpg), CC BY-SA 4.0

グローバル気候マーチが世界中で開催

GLOBAL
**CLIMATE
STRIKE**
20-27 SEPT



© WWF Intl. / Jonathan Diamond / The Stand

- ✓ 気候変動の危機に深刻な懸念を持つ世界中の子どもたち・若者・市民・NGOの有志が実施。
- ✓ 国内各地の子ども・若者・市民・NGOの有志が、気候危機の解決を訴えるために声をあげ、気候マーチや関連イベントを行う。
- ✓ NYでは、9月20日にグレタ・トゥーンベリとともにマーチがおこなわれる予定。



日本でもグローバル気候マーチ開催

グローバル GLOBAL CLIMATE STRIKE 気候マーチ 2019.9.20

名称	グローバル気候マーチ（英語名称：Global Climate Strike）
開催日	2019年9月20日（金）
開催地 （予定）	北海道、岩手、仙台、福島、栃木、東京、富山、石川、名古屋、 京都、大阪、神戸、岡山、福岡、大分、鹿児島、沖縄



Climate Week NYC

クライメート・ウィーク・ニューヨーク

- ✓ クライメート・ウィーク・ニューヨーク（Climate Week NYC）は、2009年から毎年開催される、気候変動問題についての国際会議。
- ✓ 主催は、The Climate GroupというNGO
- ✓ 毎年、国連総会が行われる9月に、1週間通して、市内各地で様々なイベントが開催。
- ✓ 国連、各国政府、企業トップ、投資家など様々なステークホルダーが参加。
- ✓ 昨年は、オープニングセレモニーで、株式会社リコーの山下良則社長が基調講演。



The Climate Groupとは

- ✓ 気候行動の加速を目指し、ロンドンを拠点として2004年に設立された非営利団体
- ✓ 地球温暖化による気温上昇を1.5°Cに抑えるため、企業、政府の対策を促進する活動を、様々なプロジェクトで推進
- ✓ 自社の事業活動で消費するエネルギーをすべて再生可能エネルギーでまかなうことにコミットする企業のイニシアティブ「RE100」をCDPとともに運営



クライメート・ウィーク・ニューヨーク・2019

- ✓ 今年は、9月23日～9月29日に開催され、国連気候行動サミットを訪れる世界各国のステークホルダーが、その活動を拡大することをサポート
- ✓ 今年のテーマは9つ
Youth & Climate Activism / Energy Transition / Industry Transition / Clean Transport, Buildings and Infrastructure / Food, Land and Nature Based Solutions / Climate Finance, Investment and Carbon Pricing / National Government Policy and Commitment / State, City and Local Action / Health, Equality and Justice / Sustainable Travel and Leisure / Resilience and Adaption to Climate Change
- ✓ 9月23日午前：オープニングセレモニー
- ✓ 9月24日、25日：The Hub
昨年からはまったThe Hubでは、メインフォーラムを開催。政府や企業のリーダーたちが重要な気候行動を議論する場となる
- ✓ この他に200を超えるイベントがニューヨーク市内各地で開催。



Climate Week NYC 2019での日本のイベント

9月24日（火） 14:30-17:00

クライメートウィークNYC The Hub – Action and Reward
@Convene at 237 Park Avenue

末吉竹二郎氏がメインフォーラムのパネルに登壇し、日本の非政府アクターの取組みを紹介

9月24日（火） 9:30-12:00

Alliances for Climate Action (ACA)イベント

"Together for Zero Carbon: How Domestic Alliances of Subnational Actors Are Championing Higher Ambition Around the World"
@Blender Workspace, 135 Madison Ave - Fl 8.

米国のWe Are Still In、日本のJCIなど各国の非政府アクターネットワークの国際連携の枠組み“Alliances for Climate Action (ACA)”のイベント。気候変動イニシアティブ（JCI）からも登壇し、日本の取組みを発信



Climate Week NYC 2019での日本のイベント

9月27日（金） 8:30-12:00

気候変動イニシアティブ（JCI）主催
公開ワークショップ - 都市の気候変動対策

"International Pathways to Decarbonization: A Conversation with Cities
Driving Rapid Building Climate Action"

@ BE-Ex Building Energy Exchange: Surrogate's Courthouse, 31
Chambers Street

日米都市が企業と共に進める気候変動対策の新展開についての講演と
議論。日本からは東京都と横浜市が、米国からはニューヨーク市とワ
シントンD.C.が登壇。



日本に求められること

グテレス事務総長が求めるもの

This means ending subsidies for fossil fuels and high-emitting agriculture and shifting towards renewable energy, electric vehicles and climate-smart practices. It means carbon pricing that reflects the true cost of emissions, from climate risk to the health hazards of air pollution. And it means accelerating the closure of coal plants and halting the construction of new ones and replacing jobs with healthier alternatives so that the transformation is just, inclusive and profitable.

- 化石燃料・高排出な農業への補助金を廃止し、再生可能エネルギーや電気自動車、気候変動に対応した手法にシフト
- カーボンプライシングを導入し、気候リスクから大気汚染による健康被害まで、排出による真のコストを反映
- 石炭火力発電所閉鎖の加速と新規建設の取りやめ
- 公正で包括的で収益のある、健全な雇用への移行

日本に求められること

✓ **NDC（国別目標）を引き上げを検討する**

↳ 検討の動きは見えない

✓ **石炭火力発電の輸出に対する公的支援停止の意思を示す**

↳ 高効率な石炭火発の輸出を海外での削減貢献の中心にしている

✓ **国内における石炭火力発電のフェーズアウトを明確に示す**

↳ 「依存度を可能な限り下げる」にとどまっている

✓ **国内においてカーボンプライシングの導入に向けた議論を進める**

↳ 環境省の2020年度税制改正要望に「専門的・技術的な議論が必要」と記載



ご清聴ありがとうございました

これからもご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます

<http://www.wwf.or.jp/join/>

<http://shop.wwf.or.jp>